政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 寺田 千代乃 ：アートコーポレーション株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		当社の基幹事業である、引越事業[内需関連]については昨年秋以降、消費増税の反動減により、引越件数の伸びが弱い傾向は続いており、件数の伸びが少ないことから単価も若干下落傾向が続いている。新築住宅竣工に伴う引越が減少している事に加えて、企業の転勤についても勢いが見られない事から、このような結果になっていると考えられ、この傾向は、引越の繁忙期である3～4月も続くと予想している。物流業界の景況は、一般景気の動きに遅行するといわれており、業況の回復の動きが見えてくるには、まだ時間がかかるのではないかと考えている。なお、需要の伸びが弱い中で、燃料費の下落については、原価の低減に直接効果が期待でき、歓迎している。
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	企業収益の拡大が、賃金上昇や雇用拡大に結び付き、景気の好循環になる事を希望するが、賃金上昇という課題は今年だけ、あるいは、今だけの問題ではない。今年1年だけ賃上げしたところで、継続的な景気の好循環に結び付くものでもない。継続的に、業績が拡大していく見通しを各企業が持てる状況になり、それを踏まえて継続的に賃上げを行う事ができるという判断を行うものであり、また、働く人たちも、将来の生活や老後の社会保障が安定する見通しが持てる事で、消費を増加させる動きに転じるのでは。更に、中堅、中小企業の経営者は、まだまだ、好循環を実感できない方が多いように感じる。好循環という考え方のためには、長期的な視点が必要ではないかと思う。財政諮問会議の資料でも、成長の加速のために、女性の働きやすい制度への見直し、子育てを取り巻く潜在ニーズの顕在化や、こどもや子育て世代への資源配分の強化が謳われているが、これらの政策は一過性のものではなく、長期的に効果がでるものであり、これまでの政策を継続的に続けていく事を忘れないでいただきたい。
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	